

千葉県勤労者スキー協議会 2024年度定期総会を開催しました

《挨拶する東山会長》

2024年度の千葉県スキー協議会総会が6月22日、船橋道祖会館で行われました。

4クラブより14名の代議員が出席し、加えて20名近くの委任状を提出いただき総会は成立し、全ての議案が賛成多数で採択されました。



出された意見、質問の一部を紹介します。

- 1 役員の交通費は、スキー祭典の会計で処理しているということだったが県の会計で処理するべきものではないか。
- 2 県スキー協議会で最も力を入れて取り組んでいるスキー祭典の収支報告が示されていないがこの総会と各クラブにも報告があって然るべき。
- 3 総括で秋の学習会の事が触れられていないがこれは会員にとって必要であり楽しみにしている学習会なので総括に入れて欲しい。
- 4 ホームページの活用を始めているが、他の種目でもホームページからの問い合わせが会員増につながっていると聞いている。各クラブで通信員を決めて県に原稿と写真を送るようにしてはどうか。

などの意見が出され、それぞれ修正され可決となりました。

また、会長からはPOWの活動が紹介され、地球温暖化から日本のスキー環境をどう守り継続していくか、自分たちができる事から考えていこうとの提案がされました。

総会終了後は、恒例の懇親会が船橋駅の高架下、鴨川港魚魚組で行われました。

千葉県勤労者スキー協議会は全国的に見ると弱小県と思っていたが、50人に迫る会員

《参加者の皆さん》



数と、昨年度は一つクラブが増えるという全国的に見て画期的な活動を行っていて決して弱小でないという事も総会の中で出され皆勇気をもらい次のシーズンへと期待を膨らませる前向きな総会となりました。